



# 地域おこし協力隊 焼尻隊員の日記

早いもので、焼尻生活も1年と6ヶ月目に突入。まだまだ未熟者であることには変わりませんが、協力隊の任期で考えるところ折り返し地点に入ったと言えます。

そんな私の中で、最近常に意識していることがあります。それは「物事ひとつひとつの奥深さに触れる」ということ。地域おこし協力隊という立場上、地域の魅力を幅広く学びたいと思っ

ているのですが、いざ勉強し始めるときりがないのです。

たとえば、私が今年の冬に取り組んだ海藻採集活動。島で採れるノリだつて「ウツプルイノリ」だの「アサクサノリ」だのと種類がありますし、風味や食感も微妙に違いました。

鳥で採れる「コンブ」と言えば「がらめ昆布」ですが、調べてみたところ、全国的には非常に珍しい種類の昆布だそう。でもっと価値を高められるかもしれません。

森林に目を向けてみると、焼尻には200種類以上の野鳥が飛来するそうで、中には学術的価値の高い発見もあると聞きました。日ごろ何気なく過ごしている焼尻島ですが、ちょっと野鳥に注目してみれば、大きさが違つ、色も違つ、鳴き声も違つ、飛びかたも違つ……と、素人なりにわかつてくるのです。

他にも、漁師さんが獲る魚の種類や漁法、こたわり、島の人たちが大工仕事で当た



春は野鳥のさえずりが楽しめるオンコ原生林。今年ではエゾエンゴサクも見事に咲きました！

り前のように使う道具の名前、効果、注意点、島で採れる山菜の採れる場所、美味しい食べかた、保存方法……などなど。これぞまさに「焼尻の奥行き」とでも言いましょうか。島の魅力を語るために、まだまだ学びが必ずあります。

「焼尻地区担当 奥野 真人」

## 人のうごき

平成27年5月届出分を掲載(希望者のみ)

### おたんじょう

村田 葉月 <sup>はづき</sup> ちゃん	(克彦・いちご)	緑町
茶谷 佳直人 <sup>かなと</sup> くん	(隆・貴美子)	南大通2
小山 湊斗 <sup>みなと</sup> くん	(圭輔・里紗)	栄町
本間 心梧 <sup>しんご</sup> くん	(友教・美千加)	南4の4
藤田 紗優 <sup>さゆ</sup> ちゃん	(俊悟・枝里子)	南5の5
手代森 空碧 <sup>あくあ</sup> くん	(好美・郁恵)	栄町

### ごけっこん

平田 良春 <sup>らふ</sup> さん	平田 寿枝 <sup>すけ</sup> さん	栄町
柴田 裕二 <sup>ゆうじ</sup> さん	一町田 梨紗 <sup>りさ</sup> さん	南2の4
志子田 直育 <sup>なおく</sup> さん	大原 彩矢 <sup>あや</sup> さん	焼尻
田沢 翔太 <sup>しょうた</sup> さん	関野 小百合 <sup>こはる</sup> さん	南5の5
倉田 悠平 <sup>ゆうへい</sup> さん	逢坂 ひかり <sup>ひかり</sup> さん	幸町

### おくやみ

山岸 ハル子 <sup>はるこ</sup> さん	101歳	栄町
浅井 洋子 <sup>ようこ</sup> さん	74歳	幸町
逢坂 モモ子 <sup>ももこ</sup> さん	83歳	南2の5
長谷川 時子 <sup>ときこ</sup> さん	77歳	栄町
紺野 信義 <sup>のぶのり</sup> さん	89歳	栄町
村田 勇 <sup>ゆう</sup> さん	80歳	中央
風上 昭次郎 <sup>あきまさ</sup> さん	86歳	港町
森本 八重子 <sup>やえこ</sup> さん	94歳	栄町
鳴海 美代志 <sup>みよ志</sup> さん	56歳	南町

広報はぼろ5月号の訂正について  
「おくやみ」欄の氏名の記載に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正します。  
(誤) 戸澤 美代志さん (正) 戸澤 三代志さん

### 人口と世帯数(5月末)

人口	7,509人	(-15)
男	3,579人	(-3)
女	3,930人	(-12)
世帯数	3,725世帯	(-6)
( )は前月比		

## 羽幌バレーボールスポーツ少年団

羽幌バレーボールスポーツ少年団は、現在小学校4年生から6年生までの19名で活動しています。先日行われた管内大会では、5・6年生の羽幌ジャンプチームが見事優勝し、全道大会への切符を手に入れました。現在2・3年生の団員がいませんが、一緒にバレーボールに励む仲間を大募集中です。ぜひ一度練習の見学に来てください。

☆入会希望者は下記まで☆  
藤澤 ☎62-1040

- 練習日時 毎週月～金曜日(木曜日休み)午後4:00から
- 場所 羽幌小学校体育館



編集後記

「COOLBIZ(クールビズ)」。2005年4月当時の小池環境大臣が小泉内閣総理大臣から、夏場の軽装による冷房の節約一をキヤッチフレーズにしたらどうかとアドバイスされ、それ以降、環境省の主導のもと、ネクタイや上着をなるべく着用せず(いわゆる「ノーネクタイ・ノージャケット」)キャンペーン(夏期に摂氏28度以上の室温に対応できる軽装の服装を着用するよう呼びかけたのが始まりで、この呼び名は一般公募により選ばれました。役場も6月から業務に支障がない限り、COOLBIZを9月末まで実施します。(k)

